

岡垣町  
個別施設計画（橋梁）  
個別施設計画（道路附属物等）



「関前橋(2022年更新)」

令和4年12月

## 目 次

1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景	1
2. 橋梁長寿命化修繕計画の目的	2
3. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁	4
4. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	11
5. 修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	12
6. 新技術の活用に関する基本的な方針	13
7. 橋梁長寿命化修繕計画の流れ	14
8. 橋の健全性の評価と劣化予測	15
9. 部材健全性の考え方	16
10. 管理水準の設定	17
11. 措置優先順位の設定	18
12. 工事費算出と対策工法選定の方針	20
13. 概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期	21
14. 橋梁長寿命化修繕計画による効果	27
15. 計画策定担当者及び意見聴取した学識経験者等	29
16. 参考文献	30
17. 用語の定義	30

## 1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景

岡垣町が管理する橋梁は、令和4年度現在で道路橋が144橋、歩道橋が1橋の計145橋が架設されています。

このうち橋歴が分かる計37橋のうち建設後50年を経過する橋梁は、約30%を占めており、20年後の令和24年度には約86%程度に増加します。この傾向は橋歴不明の橋梁を含めた場合も同様以上の推移になると予想されます。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、事後保全的な維持管理を適用すると、橋梁の修繕・架替に要する費用の増大で修繕対応が困難になると予測されます。

そのため、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取組が不可欠です。

※橋歴不明の計108橋の建設年次は、町道認定を行った年に定義している

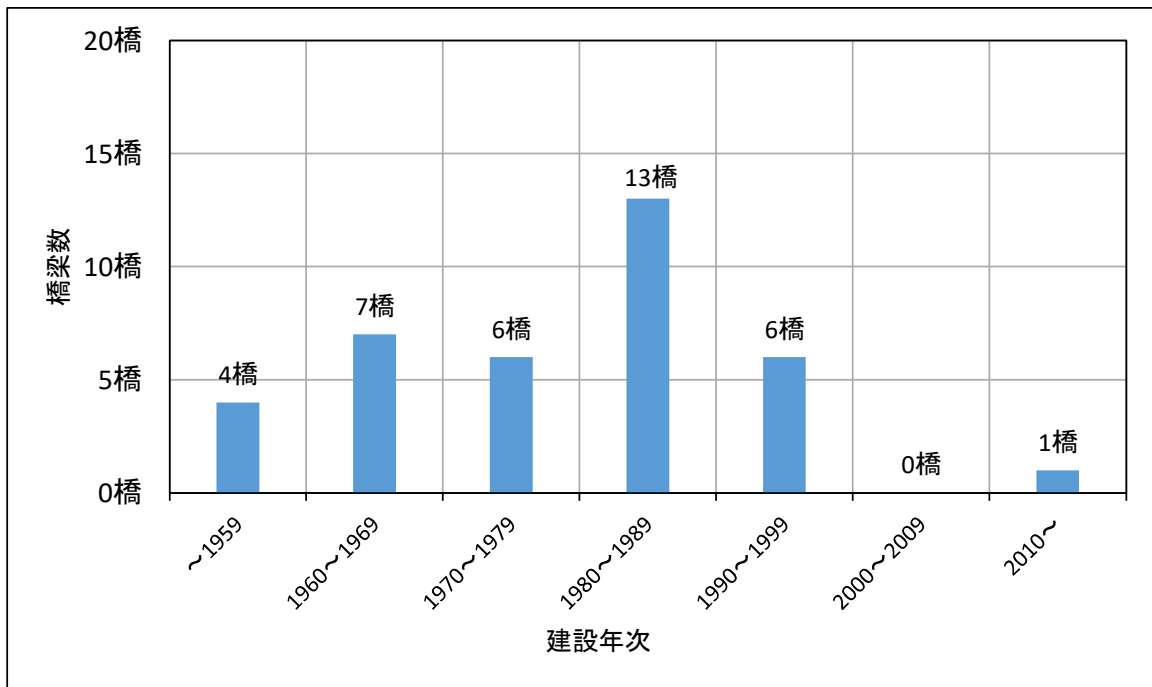


図1.1 建設年次ごとの橋梁数

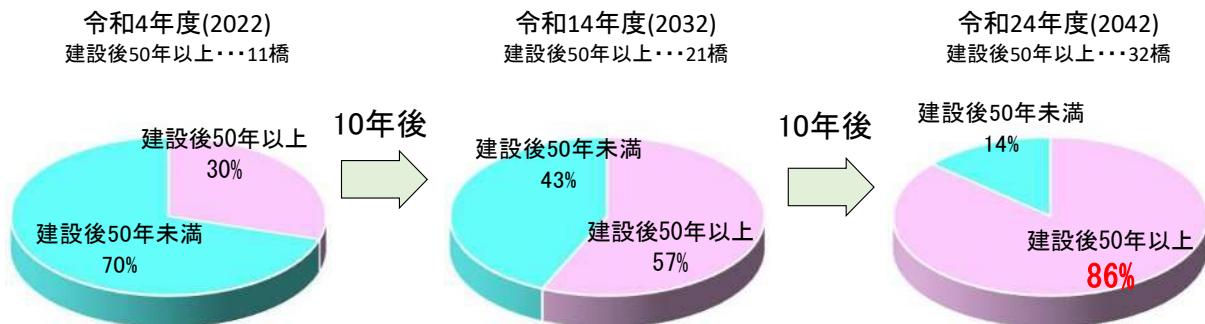


図1.2 建設後50年以上経過した橋梁の割合

## 2. 橋梁長寿命化修繕計画の目的

岡垣町では、平成25年度の橋梁長寿命化修繕計画で維持管理の手法を従来の事後保全型から予防保全型へ転換し、令和元年度の修繕計画の見直しを経て限られた財源の中で効率的に修繕し、橋梁の健全性を向上させました。

しかしながら、橋梁の老朽化は年々進展しており、引き続き計画的な予防保全の対応が求められています。

今後も将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図る必要があるため、修繕対応の履歴を整理のうえ、橋梁長寿命化修繕計画の更新策定を実施します。

※H25の健全性は、遠方目視点検のため、R1以降（近接目視点検）と差異があります。

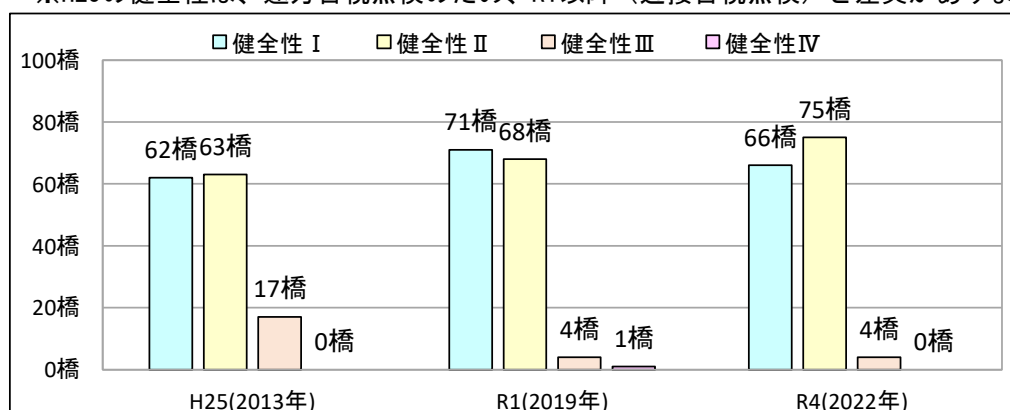


図2 健全性の推移

橋梁長寿命化修繕計画の更新策定は以下の効果を得ることを目的とします。

### (1) 道路交通ネットワークの安全性・信頼性の確保

全ての管理橋梁の健全性を把握のうえ、損傷・劣化が軽微な段階で対策を実施する予防保全的な維持管理によって、橋梁の健全性を常に管理水準以上となるように保つことで、町内の道路ネットワークの安全性と信頼性を確保します。

- ・ 定期点検による管理橋梁の健全性の把握
- ・ 損傷度と架橋条件等を考慮した対策優先順位の設定
- ・ 計画的な維持管理の実施

### (2) 維持管理事業の透明性・説明責任の向上

橋梁長寿命化修繕計画に修繕措置の方針や方策を明示することで、維持管理の透明性と説明責任の向上を図ります。

### (3) 維持管理の持続性の向上

橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ予防保全的な維持管理を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化および高コスト化を回避し、長期的な維持管理費の縮減を図ります。

今後の維持管理は、工事の単年度集中を回避しつつ、予算に見合った持続性のある事業計画とします。



平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定後、橋梁定期点検、補修設計、修繕工事を計画的に進めてきました。



表2 修繕対応の状況

年度	修繕済（橋）								予定（橋）		
	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
補修	2	2	2	2	1	2	-	1	1	1	2
更新	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
計	13橋								4橋		

※1168岡垣中学校前歩道橋の修繕対応も含む

点検・調査	橋梁点検車	近接目視	詳細調査
			

関前橋の修繕対応	補修前	補修後	主な補修内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工 架け替え</li> <li>下部工 更新</li> </ul>

第二御下橋の修繕対応	補修前	補修後	主な補修内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>橋面工 橋面防水 床板打替 舗装打替 防護柵取替</li> <li>上部工 当て板補修 塗装の塗替</li> </ul>

### 3. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

表3 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

【道路橋】

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	22	9	113	144
うち計画の対象橋梁数	22	9	113	144
うち平成25年度計画策定橋梁数	21	9	111	141
うち令和元年度計画策定橋梁数	21	9	113	143
うち令和4年度計画策定橋梁数	22	9	113	144

橋梁長寿命化修繕計画の対象：岡垣町が管理する道路橋  
1169 今橋2号橋 → R4から対象橋梁に追加 増

【道路附属物等】

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	1	-	-	1
うち計画の対象橋梁数	1	-	-	1
うち平成25年度計画策定橋梁数	-	-	-	0
うち令和元年度計画策定橋梁数	1	-	-	1
うち令和4年度計画策定橋梁数	1	-	-	1

橋梁長寿命化修繕計画の対象：岡垣町が管理する道路附属物等  
【歩道橋】  
1168 岡垣中学校歩道橋

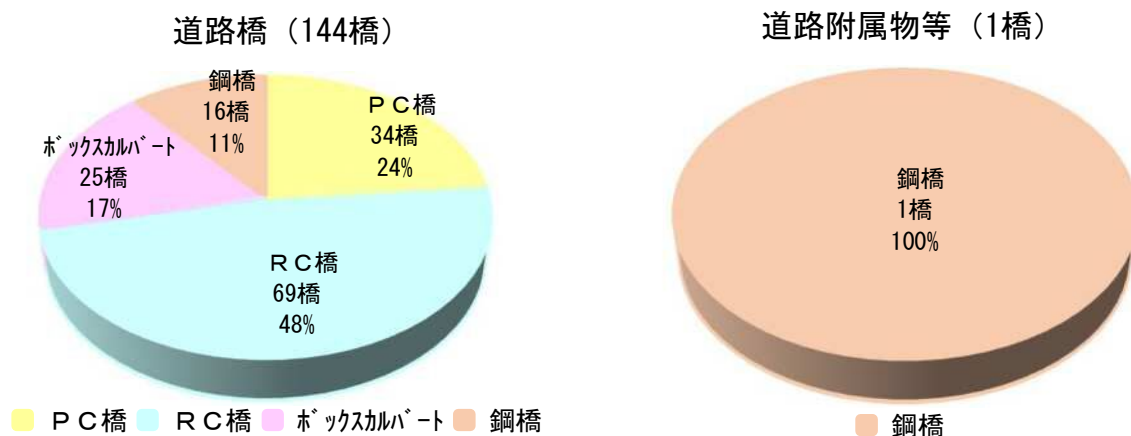


図3 橋梁形式の分類

## 道路橋 諸元の一覧

健全性	Ⅰ：健全	Ⅱ：予防保全段階	Ⅲ：早期措置段階	Ⅳ：緊急措置段階
-----	------	----------	----------	----------

番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年
1001	汐入川橋	内浦・什王堂線	1977	32.6	5.2	鋼 I 桁橋	大字什王堂	H30	Ⅱ	R5
1002	高見橋	高見橋・矢口線	1968	21.5	4.1	鋼 I 桁橋	大字吉木	H30	Ⅰ	R5
1003	第 3 矢口橋	矢口・堀毛線	1983	19.6	4.0	ポステン中空床版橋	大字吉木	H30	Ⅱ	R5
1004	第 1 矢口橋	矢口・中曾根線	1959	20.5	4.1	鋼 I 桁橋	大字吉木	H30	Ⅱ	R5
1005	正矢口橋	正矢口・田中ノ下線	1960	20.3	2.7	H 形鋼橋	吉木西二丁目	R2	Ⅰ	R7
1006	西山田橋	茅原・南山田線	1977	18.8	10.7	PC プレテン床版橋	中央台三丁目	R2	Ⅱ	R7
1007	第 2 矢口橋	矢口・吉木小学校線	1962	18.2	3.1	H 形鋼橋 (不明)	吉木西一丁目	R2	Ⅱ	R7
1008	牟田橋	東黒山・糠塚線	1961	15.0	6.0	鋼 I 桁橋	大字黒山	H30	Ⅱ	R5
1009	牛田橋	東黒山・牛田線	1963	14.2	3.7	鋼 I 桁橋	大字黒山	H30	Ⅱ	R5
1010	本村橋	本村・秋藤線	1986	11.4	7.2	プレテンホロー桁橋	大字戸切	H30	Ⅱ	R5
1011	柳橋	柳・植田線	(1979)	13.4	3.6	鋼 I 桁橋	大字山田	R2	Ⅰ	R7
1013	山田橋	山田・東山田線	1980	21.8	6.6	PC プレテン床版橋	大字山田	R3	Ⅰ	R8
1014	持田橋	本村・弥住線	(1979)	10.4	7.1	PC プレテン床版橋	大字戸切	R3	Ⅱ	R8
1015	湯川 2 号橋	湯川・内浦線	(1979)	10.3	8.1	RCT 桁橋	大字波津	R2	Ⅱ	R7
1017	相園橋	高倉・御下線	(1979)	8.4	4.7	PC プレテン床版橋	大字吉木	R2	Ⅱ	R7
1018	立田橋	花木・花木橋線	1994	7.0	4.2	鋼板桁橋	大字高倉	R3	Ⅱ	R8
1019	第二御下橋	桑田・馬場線	(1979)	8.2	2.8	鋼板桁橋	大字高倉	R2	Ⅰ	R7
1021	小豆橋	海老津宝線	(1979)	8.0	4.8	H 形鋼橋	海老津 2 丁目	R2	Ⅰ	R7
1022	什王堂橋	内浦・什王堂線	(1979)	7.5	4.7	PC 床版橋	大字吉木	R3	Ⅱ	R8
1023	第一御下橋	吉木・高倉線	1968	7.2	10.4	RCT 桁橋・ RC 床版橋	大字高倉	R2	Ⅰ	R7
1024	森橋	前田・田代線	(1955)	8.6	3.3	鋼板桁橋	海老津 2 丁目	R2	Ⅱ	R7
1026	大山口 2 号橋	大山口・百合野線	(1979)	7.0	5.9	PC プレテン床版橋	大字高倉	R3	Ⅱ	R8
1027	山ノ口橋	湯川・内浦線	(1979)	6.1	8.4	RC 床版橋	大字波津	H30	Ⅱ	R5
1028	百合野橋	戸切・百合野線	(1979)	6.2	3.7	RC 床版橋	大字戸切	R4	Ⅰ	R9
1029	大山口 1 号橋	大山口・百合野線	(1979)	7.1	5.9	PC プレテン床版橋	大字高倉	R3	Ⅱ	R8
1030	花木橋	吉木・宮ノ前線	(1979)	7.3	4.5	RCT 桁橋	大字高倉	R2	Ⅱ	R7
1031	中村橋	高倉・中村 1 号線	(1979)	9.5	4.7	H 形鋼橋	大字高倉	R2	Ⅲ	R7
1032	第三御下橋	高倉・中村 2 号線	(1979)	7.3	2.5	鋼板桁橋	大字高倉	R3	Ⅱ	R8
1033	第二白谷橋	東松原・海老津線	1994	15.3	10.5	プレテン T 桁橋	海老津駅前	R2	Ⅱ	R7

## 道路橋 諸元の一覧

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年
1034	今橋	元松原・吉木線	(1981)	6.2	8.9	RC T桁橋・PC床版橋	大字吉木	R2	I	R7
1035	樋口橋	汐入・大坪線	(1979)	5.5	3.6	RCホックスカルパート	大字手野	R3	II	R8
1036	東黒山1号橋	東黒山・糠塚線	(1989)	5.8	5.3	RCホックスカルパート	大字糠塚	R2	II	R7
1037	黒渡橋	手野・稲葉線	(1979)	5.6	9.8	RCホックスカルパート	大字手野	R4	I	R9
1038	大坪2号橋	汐入・大坪線	(1979)	4.9	2.6	RC床版橋	大字手野	R4	II	R9
1039	落合橋	高倉・上畑線	(1979)	7.0	8.0	RC床版橋	大字高倉	R2	II	R7
1041	江月橋	手野・稲葉線	(1979)	5.4	9.4	RC床版橋	大字手野	R3	II	R8
1042	湯川1号橋	湯川・内浦線	(1979)	5.4	8.3	RC床版橋	大字波津	R3	II	R8
1044	元松原2号橋	元松原・源十郎線	(1979)	4.9	9.4	RC床版橋・PC床版橋	大字吉木	R3	II	R8
1045	大坪1号橋	新松原・大坪線	(1979)	4.7	7.9	RC床版橋	大字手野	R2	II	R7
1046	山添橋	浦頭・山添線	(1993)	4.0	5.6	RC床版橋	大字三吉	R2	I	R7
1047	早崎橋	西黒山・吉木線	(1979)	9.5	7.7	PCプレテン床版橋	大字吉木	R2	I	R7
1048	三本松橋	海老津・早崎線	(1979)	8.5	6.2	PCプレテン床版橋	野間3丁目	R3	I	R8
1049	百合野2号橋(ゆりの橋)	百合野・金久曾線	1986	7.7	5.2	PCプレテン床版橋	大字高倉	R4	I	R9
1050	妙見橋	原・内浦線	(1979)	3.5	7.1	RCホックスカルパート	大字原	R4	I	R9
1051	狩野橋	土田・狩野線	(1979)	6.0	3.7	RC床版橋	大字手野	R4	I	R9
1052	待田橋	新松原・大坪線	(1979)	5.6	8.8	RCホックスカルパート	大字手野	R2	I	R7
1053	東黒山2号橋	東黒山・糠塚線	(1989)	4.6	5.8	RCホックスカルパート	大字黒山	R4	II	R9
1054	関前橋	吉木・宮ノ前線	2022	10.0	6.2	角形鋼管床版橋	大字高倉	R3	I	R8
1055	波津橋	波津・湯川線	(1979)	3.9	3.9	RC床版橋	大字波津	H30	I	R5
1056	河原口橋	土田・松尾線	(1979)	4.9	3.5	RC床版橋	大字手野	R4	II	R9
1057	下牟田橋	内浦・什王堂線	(1979)	3.4	6.2	RCホックスカルパート	大字吉木	R4	I	R9
1058	門司口橋	高倉・上畑線	(1979)	4.3	6.7	RC床版橋	大字上畑	R4	I	R9
1059	山崎橋	安丸・三吉原線	(1979)	3.9	3.8	RC床版橋	大字三吉	R4	I	R9
1060	浜田橋	浜山・手野線	(1979)	4.8	7.2	RCホックスカルパート	大字手野	R4	I	R9
1061	界橋	広丸・門司口線	(1979)	5.7	4.8	RC床版橋・石橋	大字上畑	R3	II	R8
1062	山ノ口2号橋	葉ノ内・山ノ口線	(1989)	4.0	2.8	RC床版橋・H型鋼橋	大字上畑	R4	II	R9
1064	湯川3号橋	湯川・内浦線	(1979)	3.5	10.6	RC床版橋	大字原	R4	I	R9
1065	平山橋	平山・海蔵寺線	(1979)	4.1	4.4	RC床版橋	大字内浦	R4	II	R9



道路橋 諸元の一覧

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年
1068	岩谷2号橋	滝・海蔵寺線	(1979)	4.0	3.3	RC床版橋	大字内浦	R2	II	R7
1070	浦頭橋	安丸・三蔵線	(1979)	3.4	7.5	RC床版橋	大字三吉	R4	II	R9
1071	海蔵寺橋(海蔵寺新橋)	内浦・海蔵寺線	(1979)	14.4	5.6	PCブレンテン床版橋	大字内浦	H30	I	R5
1072	蔵ノ下橋	東黒山・牛田線	(1979)	4.3	5.4	RC床版橋	大字黒山	R4	II	R9
1073	宇土橋	西黒山・吉木線	(1979)	4.5	8.8	RC床版橋	大字黒山	R4	I	R9
1074	枕田橋	御下・裏田線	(1979)	3.7	10.5	RC床版橋	大字高倉	R4	II	R9
1075	原橋	原・内浦線	(1979)	4.6	7.5	RC床版橋	大字原	R2	II	R7
1076	前田1号橋	内浦・手野線	(1979)	3.4	3.7	プレキャスト床版橋	大字手野	R4	I	R9
1077	元松原1号橋	元松原・源十郎線	(1979)	4.5	10.1	RCボックスカルバート	大字吉木	R4	I	R9
1078	野津橋	海老津・早崎線	(1979)	2.7	5.2	RCボックスカルバート	大字海老津	R2	II	R7
1079	火渡橋	高倉・上畑線	(1979)	2.9	8.0	RC床版橋	大字上畑	R2	II	R7
1081	前田2号橋	高倉・上畑線	(1979)	2.8	8.7	RC床版橋	大字上畑	H30	I	R5
1083	地久橋	裏田・大膳塚線	(1979)	3.8	3.8	RC床版橋	大字高倉	R4	I	R9
1085	金久曾橋	高倉・上畑線	(1979)	2.7	9.9	RC床版橋	大字高倉	R4	I	R9
1086	戸切橋	秋藤・抱ノ内線	1955	10.1	5.1	RCT桁橋・ 鋼鈹桁橋	大字戸切	R2	I	R7
1087	塚田橋	嶋井崎・塚田線	(1979)	2.2	4.0	RC床版橋	大字黒山	R4	I	R9
1088	岩谷橋	滝・海蔵寺線	(1979)	2.8	3.3	RC床版橋	大字内浦	R4	II	R9
1091	尾畑橋	上畑・海老津線	(1995)	6.5	11.6	RCT桁橋・ PCブレンテン床版橋	大字海老津	R3	II	R8
1092	小竹橋	廣丸・小竹線	1939	5.4	3.4	RCT桁橋	大字海老津	R3	I	R8
1093	小竹2号橋	廣丸・小竹線	(1979)	2.5	3.3	石橋	大字海老津	R4	I	R9
1095	矢矧橋	西黒山・糠塚線	1986	22.5	8.5	ポステンT桁橋	大字黒山	H30	II	R5
1096	大日焼橋	大日焼地内1号線	(1980)	9.0	5.2	PCブレンテン床版橋	野間2丁目	H30	I	R5
1097	浜田橋	浜田・宇田線	(1979)	3.1	5.2	RCボックスカルバート	大字黒山	H30	I	R5
1098	南橋	本村・南線	(1992)	2.0	3.9	RCボックスカルバート	大字糠塚	R4	I	R9
1099	桶太郎橋	湯川・平口谷線	(1979)	2.0	3.0	RC床版橋	大字波津	H30	I	R5
1100	一の井手橋	一の井手・北管原線	(1979)	4.1	3.6	RC床版橋	大字原	R4	I	R9
1102	山ノ口2号橋	三吉山ノ口線	(1986)	3.6	6.7	RC床版橋	大字三吉	R4	I	R9
1103	金山口橋	高倉・上畑線	(1979)	3.5	7.7	RCボックスカルバート	大字高倉	R4	I	R9
1104	大膳塚橋	上畑区内2号線	(1989)	5.2	4.3	RC床版橋	大字上畑	R3	II	R8

道路橋 諸元の一覧

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年
1105	糠塚地内1号橋	北原地内線	(1979)	3.4	3.8	RC床版橋・ 鋼橋	大字糠塚	R4	II	R9
1106	吉木地内1号橋	早崎地内2号線	(1984)	3.6	5.1	RC床版橋	大字吉木	H30	I	R5
1107	稗田橋	稗田地内線	1998	6.8	6.5	PCブレン床版橋	野間3丁目	R4	I	R9
1108	龍王橋	海老津・戸切線	1983	13.6	9.8	ブレンホロー桁橋	大字戸切	H30	II	R5
1109	畑橋	弥住・百合野線	(1984)	4.5	17.6	RC T桁橋・ RC床版橋	大字戸切	R3	II	R8
1110	名切橋	名切地内線	(1985)	3.6	5.1	RCボックスカルバート・ PC床版橋	大字内浦	R3	III	R7
1111	狩野1号橋	狩野・森線	(1985)	6.9	4.8	RC床版橋	大字手野	R3	I	R8
1112	山ノ口3号橋	山ノ口・長谷線	(1985)	2.3	4.5	RCボックスカルバート	野間南・海老津	R4	I	R9
1113	大国橋	手野・垣ノ内線	(1986)	5.4	2.7	RC床版橋・ 石橋	大字手野	R3	II	R8
1114	鋤崎橋	鋤崎・中浦線	(1986)	4.0	4.0	RCボックスカルバート	大字黒山	R2	II	R7
1115	下牟田橋	内浦・什天堂線	(1979)	12.9	5.0	PCブレン床版橋	大字手野	H30	II	R5
1116	高原橋	柳・植田2号線	(1988)	2.3	3.8	RC床版橋	大字山田	R4	I	R9
1117	猿田橋	西山田地内1号線	1978	14.5	3.6	ブレンホロー桁橋	大字東山田	H30	II	R5
1118	北分橋	天神領・北分線	(1988)	2.0	4.5	RC床版橋	大字糠塚	H30	I	R5
1119	畑一号橋	戸切・百合野1号線	(1988)	6.7	3.6	PCブレン床版橋	大字戸切	R3	II	R8
1120	畑二号橋	戸切・百合野1号線	(1988)	6.5	4.8	RC床版橋	大字戸切	R3	I	R8
1121	畑三号橋	畑・河原田1号線	(1988)	7.0	4.5	RC床版橋	大字戸切	R3	I	R8
1122	河原田橋	男石・河原田2号線	(1988)	7.0	6.0	RC床版橋	大字戸切	R3	II	R8
1123	河原田二号橋	弥住・河原田線	(1988)	3.5	4.5	RC床版橋	大字戸切	R3	I	R8
1124	一ノ井手橋	南菅原・下金蔵線	(1988)	2.5	4.6	RCボックスカルバート	大字原	R3	II	R8
1125	草場橋	竹ノ下・草場線	(1988)	2.7	4.4	RCボックスカルバート	大字原	R4	I	R9
1129	千手寺田1号橋	稲葉・千手寺田線	(1989)	11.0	3.6	RC床版橋	大字黒山	R3	III	R8
1130	千手寺田2号橋	稲葉・千手寺田線	(1989)	3.4	4.0	RCボックスカルバート	大字黒山	H30	I	R5
1131	小崎橋	小崎・沖線	(1989)	3.7	3.4	RC床版橋	大字黒山	R3	II	R8
1132	沖橋	黒山・沖2号線	(1989)	2.2	3.8	RC床版橋	大字黒山	R2	I	R7
1133	和田橋	和田・北分線	(1989)	2.3	3.4	RC床版橋	大字黒山	R2	I	R7
1135	中村橋	海老津・宝2号線	1988	10.4	6.2	PCブレン床版橋	大字海老津	H30	II	R5
1136	外畑橋	外畑・藤田ヶ崎線	(1979)	2.4	2.0	PCブレン床版橋	大字吉木	R3	I	R8
1137	白谷橋	海老津停車場線	1988	12.3	11.2	PCブレンT桁橋	海老津駅前	R2	II	R7

道路橋 諸元の一覧

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年
1138	南橋	高塚・四反田線	1966	5.3	9.4	RC床版橋	大字糠塚	R3	II	R8
1139	待田橋	手野・稲葉線	1980	40.0	10.1	RCボックスカルバート	大字手野	H30	II	R5
1140	海老津1号橋	尾畑・小局線	(1991)	2.6	6.6	RCボックスカルバート	大字海老津	R3	I	R8
1141	中曽根1号橋	吉木・中曽根地内2号	(1991)	2.0	5.6	RC床版橋	吉木東1丁目	R3	II	R8
1145	原2号橋	原地内線	(1993)	5.6	6.5	RC床版橋	大字原	H30	I	R5
1146	上丸橋	上丸・岸元線	(1993)	3.6	5.4	RCボックスカルバート	大字戸切	R2	I	R7
1147	岸元橋	上丸・岸元線	(1993)	11.0	4.4	RCT桁橋	大字尾崎	R1	II	R6
1148	水町3号橋	末旨・汐入線	(1994)	3.3	4.5	RCボックスカルバート	大字三吉	R2	II	R7
1149	水町2号橋	末旨・汐入線	(1994)	2.9	4.8	RCボックスカルバート	大字三吉	H30	II	R5
1150	牟田1号橋	牟田・汐入線	(1994)	4.4	4.5	RC床版橋	大字三吉	R4	I	R9
1151	牟田2号橋	牟田・汐入線	(1994)	3.1	3.8	RC床版橋	大字三吉	H30	I	R5
1152	汐入橋	牟田・汐入線	(1994)	8.5	3.8	RC床版橋	大字手野	R3	II	R8
1153	鍋田1号橋	国道3号側道1号線	1992	19.9	4.2	プレテンT桁橋	大字山田	R3	II	R8
1154	鍋田2号橋	国道3号側道2号線	1992	20.0	5.5	プレテンT桁橋	大字山田	R4	I	R9
1155	野間川1号橋	国道3号側道3号線	1981	13.6	9.5	PCプレテン床版橋	大字野間	H30	II	R5
1156	野間川2号橋	国道3号側道4号線	1982	13.3	9.5	PCプレテン床版橋	大字野間	R3	II	R8
1157	吉木橋	吉木・海老津線	1956	19.1	6.8	RCT桁	吉木西一丁目	H30	II	R5
1158	堀毛橋	吉木・海老津線	(1994)	2.5	9.1	RC床版橋・石橋	吉木東1丁目・2丁目	R2	II	R7
1159	裏田川橋	吉木・海老津線	(1994)	4.7	25.4	PC床版橋・RCT桁橋・RCボックスカルバート	吉木東1丁目	R3	II	R8
1160	小日焼橋	吉木・海老津線	1988	9.4	25.8	RCボックスカルバート	野間3丁目	R2	I	96
1161	公園通り1号橋	公園通り3号線	(1996)	7.0	10.0	RC床版橋	吉木東1丁目	R1	II	R6
1162	公園通り2号橋	公園通り19号線	(1996)	5.8	7.2	RC床版橋	高倉・公園通り2丁目	R1	I	R6
1163	寿橋	東海老津区内1号線	1975	14.6	6.9	鋼I桁橋(耐鋼性)	海老津駅前	R3	II	R8
1164	日焼橋	野間・小日焼線	1984	5.1	9.2	PCプレテン床版橋	大字野間	R2	II	R7
1165	新西山田橋	野間・山田線	1997	25.8	16.8	ポステン中空床版橋	大字桜台	R4	I	R9
1166	床版橋	稗田地内3号線	(2002)	3.0	9.6	PCプレテン床版橋	大字野間	R2	I	R7
1167	東山田橋	山下・内田線	1978	14.6	4.6	プレテン床版橋	東山田1丁目	H30	II	R5
1169	今橋2号橋	元松原・吉木線	(1981)	41.4	8.8	RCボックスカルバート	大字吉木	R4	III	R9

※橋歴不明の橋梁は、町道認定を行った年を( )で記載している

## 道路附属物 諸元の一覧

											健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 m	全幅員 m	橋梁の種類	所在地	最新 点検年	橋梁の 健全性	次回 点検年					
1168	岡垣中学校前歩道橋	吉木・海老津線	1976	19.8	1.9	鋼製歩道橋	大字野間	H30	I	R5					

#### 4. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

##### (1) 橋梁点検の徹底

- ①橋梁点検は、橋梁の架設年度や立地条件等を十分に考慮し、定期点検、日常点検、臨時点検を組み合わせて実施する。
  - ・定期点検：5年に1回実施
  - ・日常点検：日常的なパトロールにより実施
  - ・臨時点検：集中豪雨や大規模地震などによる自然災害の直後に実施
- ②橋梁点検は国土交通省の最新要領に準じて行う。  
また必要に応じて福岡県及び建設技術情報センターの要領を参考とする。
  - ・橋梁定期点検要領 平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課
  - ・橋梁定期点検要領 平成27年3月 福岡県 県土整備部 道路維持課
  - ・管理者のための橋梁点検の手引き（案）H29.3（財）福岡県建設技術情報センター

（注）部材毎の損傷や劣化の状況から橋梁毎の対策区分を判定する際は、「橋梁定期点検要領（付録）」の「損傷評価基準と対象区分判定基準」を参考とする。
- ③橋梁点検は、定期点検および町職員による日常点検を基本とし、劣化や損傷が顕在化する前に機能を回復させる予防保全的な維持管理を行う。

##### (2) 日常点検の徹底

- ①日常点検は可能な限り桁下からも行い、塗装の劣化やコンクリートのひび割れ等、新たな「劣化や損傷」の「箇所と内容」を早期に把握する。
- ②橋面排水口の目詰まりや橋座の土砂や鳥の糞の堆積等を発見した場合は、速やかに清掃するよう努める。

##### (3) 点検履歴および補修補強履歴の記録

- ①橋梁点検で得られる損傷等の情報は、劣化要因の推定や劣化進行の予測を行ういつつ点検調書に記入し、記録として確実に残す。なお、「損傷なし」と「未調査」を混同することが無いよう記録する必要がある。
- ②補修、補強、耐震補強等の修繕工事を行う際は、併せて近接目視による点検も行い、修繕内容、修繕時期、工法の選定方法、工事記録等を記録として確実に残す。

##### (4) 技術力の向上と伝承

- ①町職員の技術力向上を図るために、橋梁の劣化損傷特性、点検技術手法、対策工法の選定に関する「技術講習会」に適宜参加する。
- ②橋梁点検、工事の設計、工事の管理を通じ、ベテラン技術者から若手技術者へ技術の伝承を図る。

## 5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

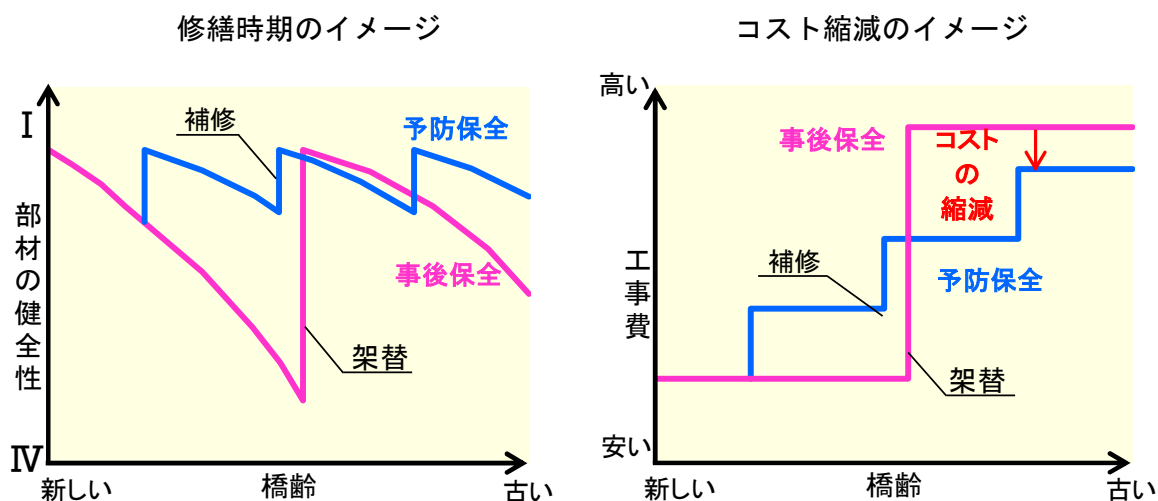
### (1) 長寿命化及び費用の縮減に関する基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ予防保全的な維持管理を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化および高コスト化を回避し、長期的な維持管理費の縮減を図ります。

【予防保全的】 損傷が小さなうちに予防的な対策を行うため、橋梁の寿命が長くなり維持管理費用を最小限に抑えられます。

【事後保全的】 損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きくなり多大な費用が発生します。

#### 【橋梁長寿命化修繕計画のイメージ図】



### (2) 集約化・撤去に関する基本的な方針

対象橋梁の集約化・撤去を行うことで維持管理の負担を軽減し、コスト縮減効果や事業の効率を向上させます。

集約化・撤去の対象橋梁は、利用頻度、迂回路の有無、橋の健全性、将来の土地利用計画を総合的に検証し抽出します。

## 6. 新技術等の活用に関する基本的な方針

道路メンテナンス事業では、維持管理費の増加や将来人口の減少が見込まれる中、新技術等の活用促進による作業の負担軽減や事業の効率化、維持管理コストの縮減が求められます。

国土交通省では、橋梁の維持・修繕に係る新技術が「点検支援技術性能カタログ」及び「新技術情報提供システムNETIS」に掲載されており、新技術の活用による、点検費用、修繕費用、工期の縮減が期待されています。

今後は、従来工法のみでなく新工法や新材料などを加えた比較検討を行い、新技術の活用を促進します。

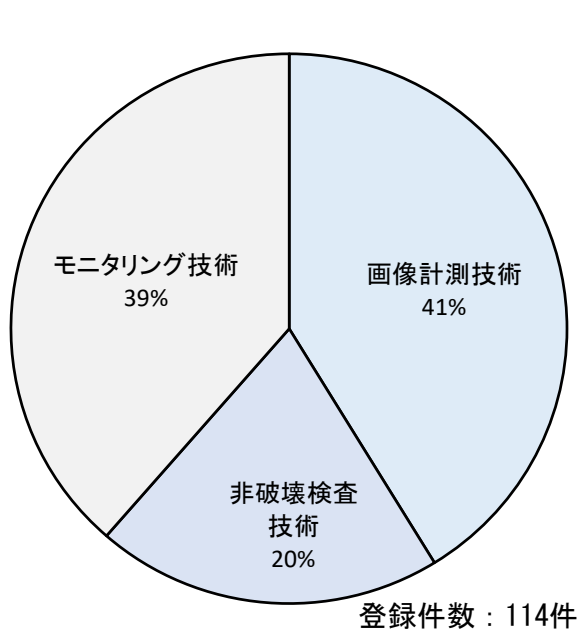


図6.1 点検支援技術性能カタログ用途別の割合 (2022年9月現在)

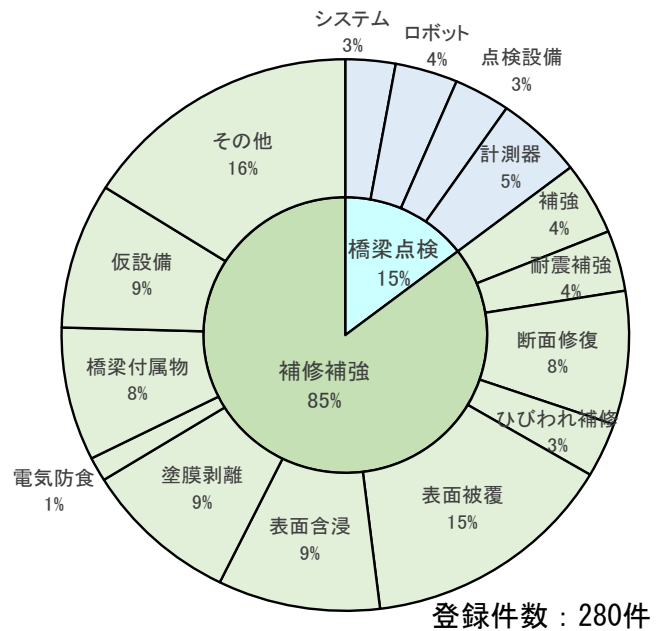


図6.2 新技術情報提供システムNETIS用途別の割合 (2022年10月3日現在)

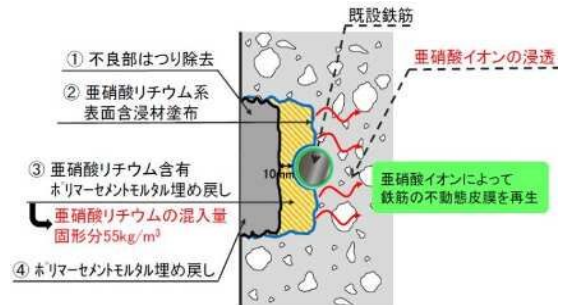
### 【新技術の登録事例】

3Dデータを活用した小型橋梁の点検  
点検支援カタログ：BR010038-V0022



小型橋梁（床版橋・溝橋）の点検に適用  
3Dモデルを作成し、橋梁の維持管理に活用

リハビリ断面修復工法  
NETIS登録番号 CG-220003-A



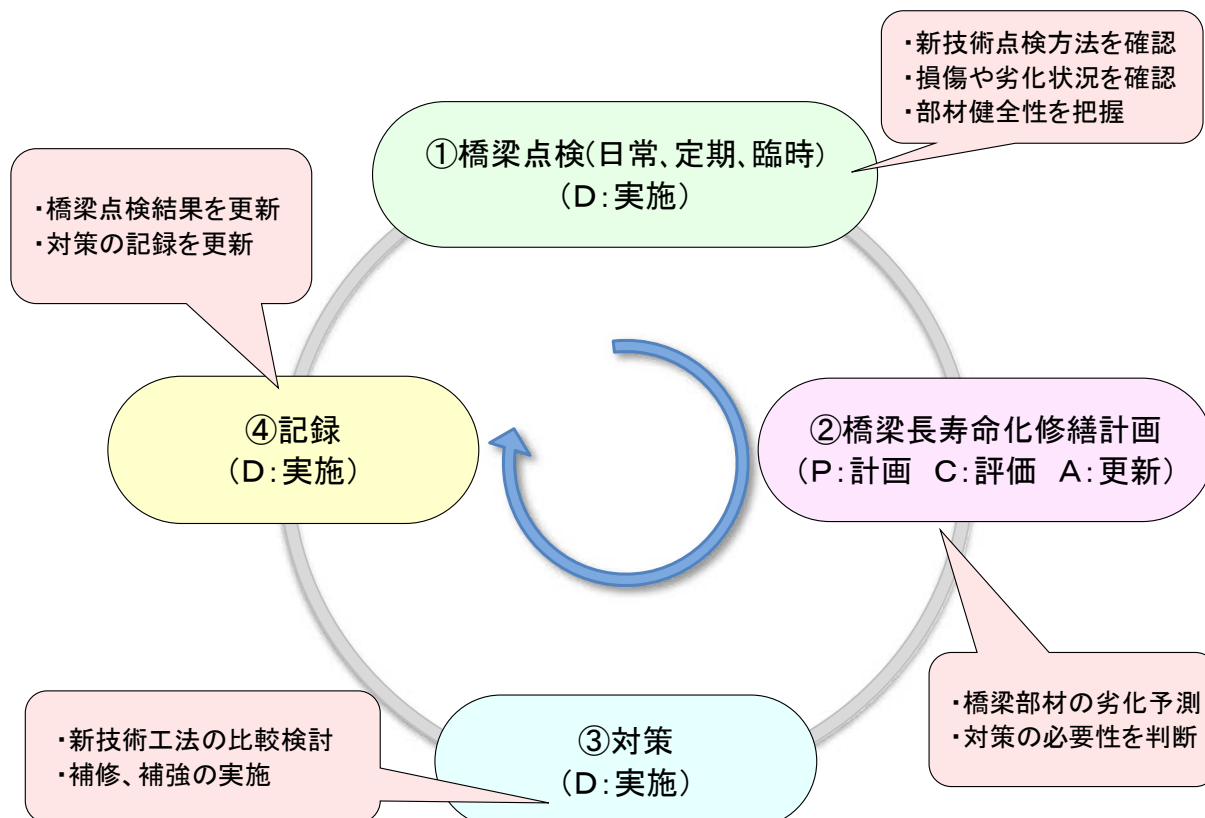
亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いる工法はつり深さを半分程度に抑えて作業手間を低減

## 7. 橋梁長寿命化修繕計画の流れ

橋梁長寿命化修繕計画は、橋梁部材の損傷や劣化状況に合った適切な補修補強等の修繕対策を実施できるよう、定期的に橋梁を点検し、実情にあった修繕計画の更新を行います。

<p>① 橋梁長寿命化修繕計画に合わせて橋梁点検を行います。 橋の規模や状況に合わせて新技術が適用可能か確認します。 橋梁の損傷や劣化状況を確認し、部材の健全性を把握します。</p>
<p>② 橋梁点検結果に基づき、橋梁部材の劣化予測を行いつつ対策の必要性を判断します。 判定結果を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画を策定・更新します。</p>
<p>③ 橋梁長寿命化修繕計画に合わせて補修や補強などの対策工事を行います。 事業効率化および費用縮減の観点から新技術の比較検討を行います。</p>
<p>④ 橋梁点検結果、補修・補強などの対策の記録を更新します。</p>

### 【橋梁長寿命化修繕計画のサイクル】





## 8. 橋の健全性の評価と劣化予測

- (1) 橋の健全性は、修繕対策時期の指標として、部材の損傷種類や損傷程度から、I (健全)～IV (緊急措置段階)の4段階で評価します。
- (2) 橋の劣化予測は50年後に健全性がIVになると仮定します。

### (1) 橋の健全性の評価

橋の健全性の診断は、部材単位毎の健全性の診断結果を踏まえて主要部材に着目して最も低い健全性の診断結果で代表させます。

健全性の診断において、構造物の性能に影響を及ぼす主要な部材は、桁、床版、橋台、橋脚、支承を示します。

表8 橋の健全性の区分

健全性		状態
健全 ↓ 劣化	I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
	II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態
	III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

### (2) 劣化予測

修繕、架替えに係る費用の縮減効果を算定する場合は、橋の架替時期や補修時期を劣化関数で想定する必要があります。

コンクリート部材の劣化関数は、精緻に設定することが困難なため、50年後に健全性がIVに達すると仮定し直線の式で表します。

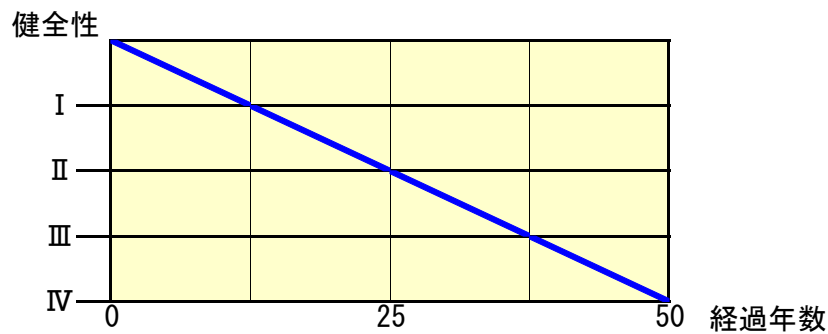


図8.1 コンクリート部材の劣化関数

鋼部材の劣化関数は、C5系のフッ素樹脂塗料を想定し以下の式で表します。「2011デザインデータブック p.236」より

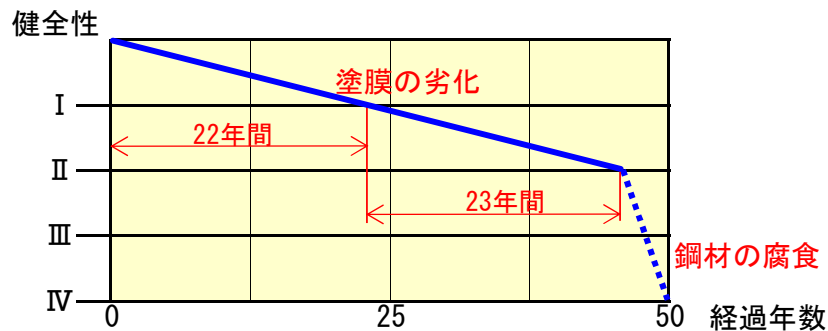


図8.2 鋼部材の劣化関数

## 9. 部材の健全性の考え方

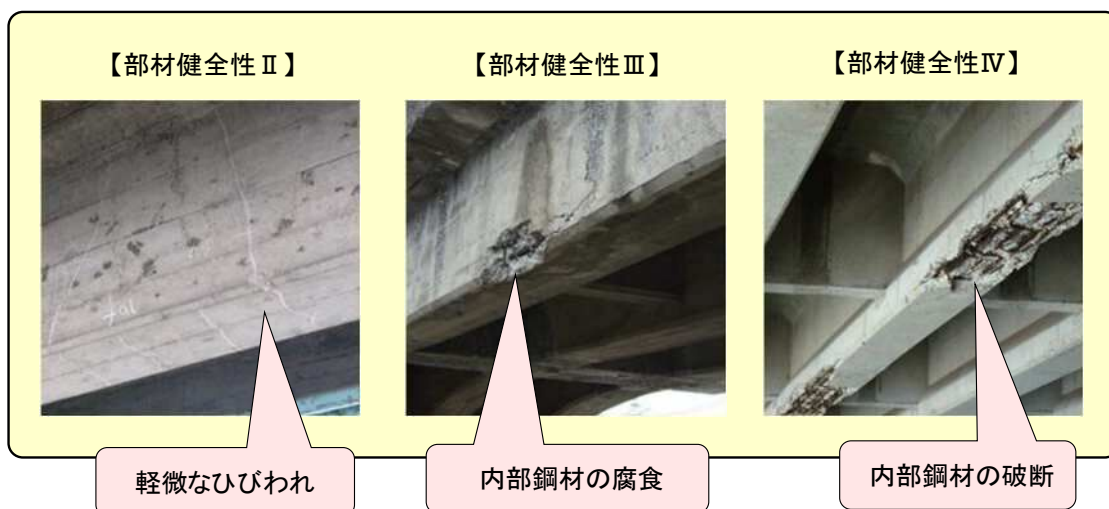
橋梁長寿命化修繕計画では、構成する部材の損傷や劣化の程度から「部材毎の健全性」を総合的に分析します。健全性は、国土交通省の「橋梁定期点検要領」に準じてⅠ～Ⅳに分類します。

Ⅰ：健全	Ⅱ：予防保全段階	Ⅲ：早期処置段階	Ⅳ：緊急処置段階
------	----------	----------	----------

### ●鋼部材の例（塗装劣化・鋼材腐食）



### ●コンクリート部材の例（ひびわれ、剥離・鉄筋露出）



### ●この他の着目部位


亀裂、鉄筋露出、路面の凹凸、支承の機能障害、下部工の変状など

## 10. 管理水準の設定

今後の維持管理では、「予防保全型」の維持管理手法を適用し、全体的な健全性が「Ⅱ：予防保全段階」を下回らないよう取り組みます。

「予防保全型」の管理水準は、損傷が小さいうちに早めの修繕を行うよう、健全性Ⅱの下限値に達した直後に設定します。

表10 管理水準

健全  劣化	I：健全	
	Ⅱ：予防保全段階	
	Ⅲ：早期措置段階	↑ 予防保全型の管理水準
	Ⅳ：緊急措置段階	

### 【参考】

経済性を比較する際の「事後保全型」の管理水準は、損傷が大きくなってからの架替えを想定するため、健全性が「Ⅳ：緊急措置段階」に達した時点とします。

## 1.1. 措置優先順位の設定

- ・対策が必要と判断された橋梁については、健全性ランクと社会的影響度に応じた措置優先順位の設定を行います。
- ・措置優先順位を設定することで、単年度の修繕費が予算を超過しないよう、修繕時期の調整による平準化を図り、事業効率の向上を目指します。

橋梁の措置優先順位は、健全性、社会的影響度、総合的個別条件を考慮して設定します。

橋梁の健全性や社会的影響度の評価が同じ場合は、総合個別の点数の高い橋の措置を優先します。

健全性Ⅳの橋梁は、緊急措置段階ため、措置優先順位の設定から省きます。

措置優先順位の設定は「市町村における個別施設計画（橋梁）の手引き（案）」に準じます。

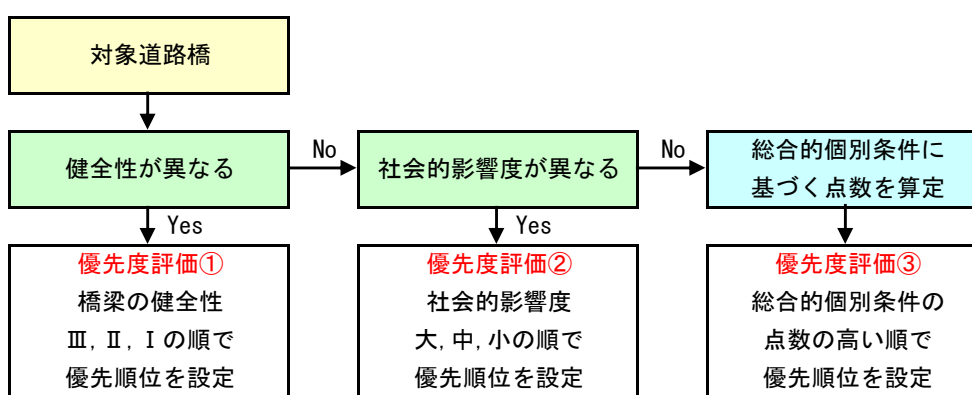


図11 措置優先順位設定の手順

表11.1 措置優先順位の設定例

橋梁名	橋梁の健全性	社会的影響度	総合個別点数	措置優先順位
A	Ⅲ	大	32	1
B	Ⅲ	中	28	2
C	Ⅲ	中	26	3
D	Ⅱ	中	27	4
E	Ⅱ	小	25	5
F	Ⅱ	小	22	6
G	Ⅰ	大	24	7

※総合個別点数の算定は次頁の表11.3~11.5を参照。

表11.2 社会的影響度に着目した橋の分類

社会的影響度	大	中	小
分類条件	①跨道橋 ②跨線橋	①道路種別が1級または2級の町道 ②橋長L ≥ 15m程度の橋 ③迂回路無し（橋長L ≥ 5m程度） ④「社会的影響度大の橋」以外で第三者被害の影響が考えられる橋（桁下を駐輪場や駐車場および公園等に利用）	左記以外

表11.3 総合的個別条件にもとづく算出指標

区分	指標	配点	判定基準	点数	摘要	
① 部材健全性		50	健全性：高→	低		
② 進行リスク	経過年数 (塩害あり)	20	51年以上	20	※1 ※2 ※3	
			41～50年	14		
			31～40年	8		
			21～30年	4		
			11～20年	2		
			0～10年	0		
	経過年数 (塩害なし)			51年以上	10	
				41～50年	7	
				31～40年	4	
				21～30年	2	
				11～20年	1	
				0～10年	0	
③ 第三者被害に 対する影響度	交差物件等	10	鉄道	10	※4	
			道路	6		
			駐輪場等	3		
			上記以外	0		
④ 路線重要度	道路種別	5	1級、2級	5	※5 ※6	
			その他	0		
	迂回路	5	無 (L ≥ 5m)	5		
			無 (L < 5m)	0		
			有	0		
⑤ 橋の規模	橋長	10	L ≥ 15m	10	※7	
			L < 15m	5		
総合優先度の合計点 100 点						
※1	経過年数	不明な場合は、同路線の前後の橋から概ねの経過年数を推定				
※2	塩害地域	海岸部から200m以内、感潮区間、凍結防止剤散布の地域				
※3	特殊な劣化環境	科学的腐食が想定される温泉地や産炭地				
※4	駐輪場等	第三者被害が想定される駐輪場、駐車場、公園等の桁下環境				
※5	迂回路「無」	迂回路「無」は落橋時に孤立状態となる民家がある場合				
※6	橋長5m未満	災害時の応急復旧が容易な橋梁				
※7	橋長15m未満	比較的容易に復旧が可能な橋梁				

$$\text{①部材健全性に着目した優先度の点数} = \frac{\sum (\text{重み係数} \times \text{健全性の点数})}{\text{該当部材の重み係数の和}}$$

表11.4 部材の重み係数

対象部材		重み係数
上部工	主桁	3
	横桁	2
	床版	2
下部工	橋台、橋脚	2
支承部	支承	1
その他	高欄・地覆等	1

表11.5 部材健全性の配点

健全性	点数
I	10
II	30
III	50

## 1 2. 工事費算出と対策工法選定の方針

- (1) 予防保全型の費用は、健全性が「Ⅱ」を下回った段階で補修するものとして計上します。  
ここで、健全性が「Ⅱ」の途中段階でも健全性「Ⅲ」に近い橋梁は修繕費用を計上します。
- (2) 事後保全型の費用は、健全性が「Ⅳ」に達した段階で架替えるものとして計上します。
- (3) 対策実施後は健全性が「Ⅰ」に回復するものと考えます。

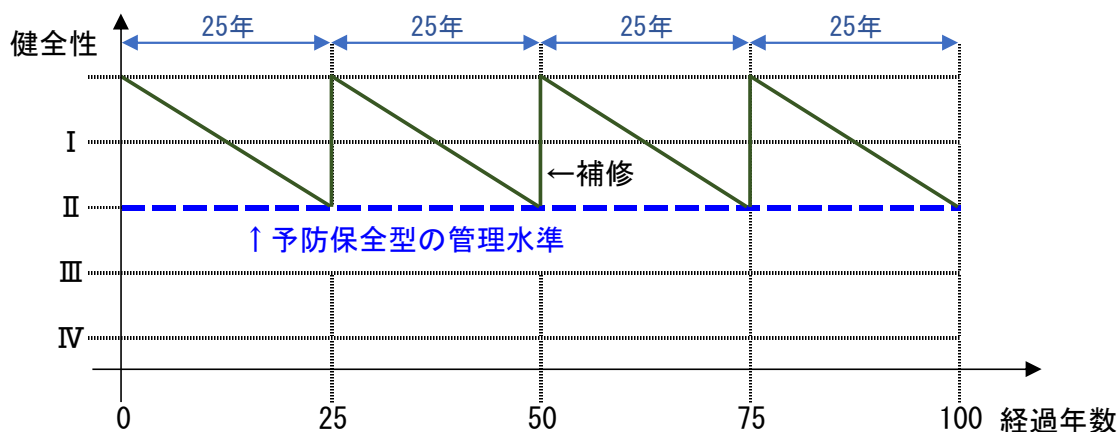


図12.1 対策時期の概念図（予防保全型）

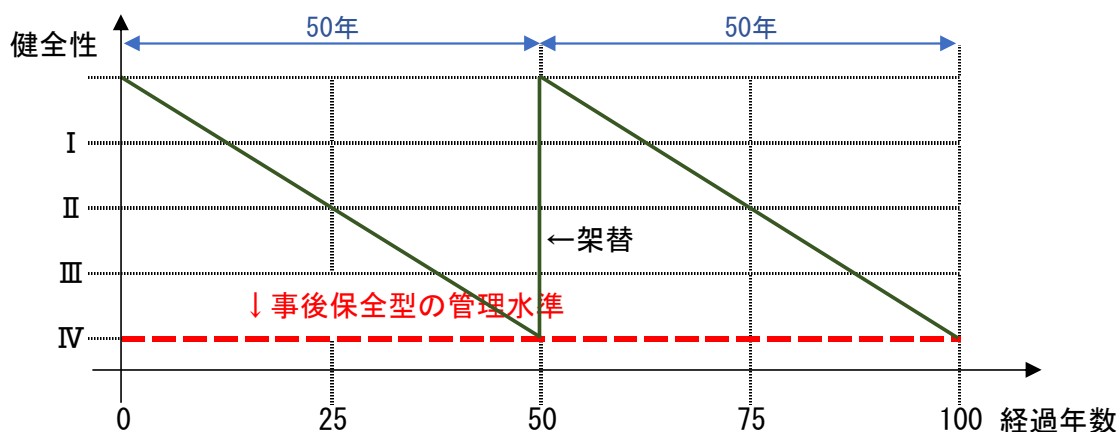


図12.2 対策時期の概念図（事後保全型）

※コンクリート部材の工事費算出のための対策工法は、比較的施工実績の多い、表面含浸工、ひびわれ注工、断面修復工を組み合わせ設定します。

表12 対策工法（コンクリート主桁の例）

健全性	対策工法	補修費率	維持管理の手法
I 健全			—
Ⅱ 予防保全段階	表面被覆 ひびわれ注工 断面修復	100% 20% 10%	予防保全型
Ⅲ 早期措置段階	表面被覆 ひびわれ注工 断面修復	100% 40% 50%	予防保全型
Ⅳ 緊急措置段階	架け替え	100%	事後保全型

※補修数量は、対象部材の数量に補修費率を掛けることで算出します。

13. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

橋梁長寿命化修繕計画の対策期間は令和5年度（2023年）～令和14年度（2032年）の10年間とします。

以下に年度毎の対策橋梁数及び対策実施橋梁を示す。

表13.1 年度毎の対策橋梁数

（単位：橋）

項目	対策年次										計
	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	
点検	31	4	36	36	39	32	5	36	33	39	291
設計	2	2	2	1	1	1	-	-	-	-	9
修繕	1	1	2	2	1	1	1	-	-	-	9

表13.2 年度毎の対策実施橋梁

対策年次	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
設計・調査	1129千手寺田1号橋 1169今橋2号橋	1110名切橋 1169今橋2号橋	1032第三御下橋 1131小崎橋	1014持田橋
修繕工事	1031中村橋	1129千手寺田1号橋	1110名切橋 1169今橋2号橋	1032第三御下橋 1131小崎橋

対策年次	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
設計・調査	1022什王堂橋	1159裏田川橋	
修繕工事	1014持田橋	1022什王堂橋	1159裏田川橋

【様式1-2】道路橋

凡例： ← 対策を実施すべき時期を示す。

直営点検：  委託点検：

健全性	I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期													
							R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032				
1001	汐入川橋	内浦・什王堂線	32.55	1977	45	H30	点検						点検							
1002	高見橋	高見橋・矢口線	21.5	1968	54	H30	点検						点検							
1003	第3矢口橋	矢口・堀毛線	19.6	1983	39	H30	点検						点検							
1004	第1矢口橋	矢口・中曽根線	20.53	1959	63	H30	点検						点検							
1005	正矢口橋	正矢口・田中ノ下線	20.25	1960	62	R2				点検						点検				
1006	西山田橋	茅原・南山田線	18.8	1977	45	R2				点検						点検				
1007	第2矢口橋	矢口・吉木小学校線	18.2	1962	60	R2				点検						点検				
1008	牟田橋	東黒山・糠塚線	15.01	1961	61	H30	点検									点検				
1009	牛田橋	東黒山・牛田線	14.21	1963	59	H30	点検									点検				
1010	本村橋	本村・秋藤線	11.44	1986	36	H30	点検									点検				
1011	柳橋	柳・植田線	13.4	(1979)	43	R2				点検						点検				
1013	山田橋	山田・東山田線	21.75	1980	42	R3				点検							点検			
1014	持田橋	本村・弥住線	10.44	(1979)	43	R3				点検・設計	←	表面含浸&ひび割れ注入	→	断面修復			点検			
1015	湯川2号橋	湯川・内浦線	10.3	(1979)	43	R2				点検						点検				
1017	相園橋	高倉・御下線	8.4	(1979)	43	R2				点検						点検				
1018	立田橋	花木・花木橋線	7	1994	28	R3				点検							点検			
1019	第二御下橋	桑田・馬場線	8.2	(1979)	43	R2				点検						点検				
1021	小豆橋	海老津宝線	8	(1979)	43	R2				点検						点検				
1022	什王堂橋	内浦・什王堂線	7.5	(1979)	43	R3				点検	設計	←	点検							
1023	第一御下橋	吉木・高倉線	7.22	1968	54	R2				点検	表面含浸&ひび割れ注入	→	断面修復			点検				
1024	森橋	前田・田代線	8.6	(1955)	67	R2				点検						点検				
1026	大山口2号橋	大山口・百合野線	7	(1979)	43	R3				点検							点検			
1027	山ノ口橋	湯川・内浦線	6.1	(1979)	43	H30	点検									点検				
1028	百合野橋	戸切・百合野線	6.2	(1979)	43	R4					点検						点検			
1029	大山口1号橋	大山口・百合野線	7.1	(1979)	43	R3				点検							点検			
1030	花木橋	吉木・宮ノ前線	7.3	(1979)	43	R2				点検						点検				
1031	中村橋	高倉・中村1号線	9.5	(1979)	43	R2	←	点検	2種ケレン&塗装							点検				
1032	第三御下橋	高倉・中村2号線	7.3	(1979)	43	R3				設計	←	点検	2種ケレン&塗装				点検			
1033	第二白谷橋	東松原・海老津線	15.3	1994	28	R2				点検						点検				
1034	今橋	元松原・吉木線	6.2	(1981)	41	R2				点検						点検				
1035	樋口橋	汐入・大坪線	5.5	(1979)	43	R3				点検							点検			
1036	東黒山1号橋	東黒山・糠塚線	5.8	(1989)	33	R2				点検						点検				
1037	黒渡橋	手野・稲葉線	5.6	(1979)	43	R4					点検						点検			
1038	大坪2号橋	汐入・大坪線	4.9	(1979)	43	R4					点検						点検			
1039	落合橋	高倉・上畑線	7	(1979)	43	R2				点検						点検				
1041	江月橋	手野・稲葉線	5.4	(1979)	43	R3					点検						点検			
1042	湯川1号橋	湯川・内浦線	5.4	(1979)	43	R3					点検						点検			
1044	元松原2号橋	元松原・源十郎線	4.9	(1979)	43	R3					点検						点検			
1045	大坪1号橋	新松原・大坪線	4.7	(1979)	43	R2				点検						点検				
1046	山添橋	浦頭・山添線	4	(1993)	29	R2					点検					点検				



【様式1-2】道路橋

凡例： ← 対策を実施すべき時期を示す。

直営点検：  委託点検：

健全性	I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設年 度	供用年 数	最新点 検年次	対策の内容・時期													
							R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032				
1047	早崎橋	西黒山・吉木線	9.5	(1979)	43	R2			点検							点検				
1048	三本松橋	海老津・早崎線	8.5	(1979)	43	R3				点検							点検			
1049	百合野2号橋(ゆりの橋)	百合野・金久曾線	7.7	1986	36	R4					点検							点検		
1050	妙見橋	原・内浦線	3.4	(1979)	43	R4					点検							点検		
1051	狩野橋	土田・狩野線	6	(1979)	43	R4					点検							点検		
1052	待田橋	新松原・大坪線	5.6	(1979)	43	R2			点検							点検				
1053	東黒山2号橋	東黒山・糠塚線	4.6	(1989)	33	R4					点検							点検		
1054	関前橋	吉木・宮ノ前線	10	2022	0	R3				点検							点検			
1055	波津橋	波津・湯川線	3.9	(1979)	43	H30	点検					点検								
1056	河原口橋	土田・松尾線	4.9	(1979)	43	R4					点検							点検		
1057	下牟田橋	内浦・什王堂線	3.4	(1979)	43	R4					点検							点検		
1058	門司口橋	高倉・上畑線	4.3	(1979)	43	R4					点検							点検		
1059	山崎橋	安丸・三吉原線	3.9	(1979)	43	R4					点検							点検		
1060	浜田橋	浜山・手野線	4.8	(1979)	43	R4					点検							点検		
1061	界橋	広丸・門司口線	5.7	(1979)	43	R3				点検							点検			
1062	山ノ口2号橋	葉ノ内・山ノ口線	4.0	(1989)	33	R4					点検							点検		
1064	湯川3号橋	湯川・内浦線	3.5	(1979)	43	R4					点検							点検		
1065	平山橋	平山・海蔵寺線	4.1	(1979)	43	R4					点検							点検		
1068	岩谷2号橋	滝・海蔵寺線	4.0	(1979)	43	R2			点検							点検				
1070	浦頭橋	安丸・三蔵線	3.4	(1979)	43	R4					点検							点検		
1071	海蔵寺橋(海蔵寺新橋)	内浦・海蔵寺線	14.4	(1979)	43	H30	点検					点検								
1072	蔵ノ下橋	東黒山・牛田線	4.3	(1979)	43	R4					点検							点検		
1073	宇土橋	西黒山・吉木線	4.6	(1979)	43	R4					点検							点検		
1074	枕田橋	御下・裏田線	3.7	(1979)	43	R4					点検							点検		
1075	原橋	原・内浦線	4.6	(1979)	43	R2			点検							点検				
1076	前田1号橋	内浦・手野線	3.4	(1979)	43	R4					点検							点検		
1077	元松原1号橋	元松原・源十郎線	4.5	(1979)	43	R4					点検							点検		
1078	野津橋	海老津・早崎線	2.7	(1979)	43	R2			点検							点検				
1079	火渡橋	高倉・上畑線	2.9	(1979)	43	R2			点検							点検				
1081	前田2号橋	高倉・上畑線	2.8	(1979)	43	H30	点検						点検							
1083	地久橋	裏田・大膳塚線	3.8	(1979)	43	R4					点検							点検		
1085	金久曾橋	高倉・上畑線	2.7	(1979)	43	R4					点検							点検		
1086	戸切橋	秋藤・抱ノ内線	10.1	1955	67	R2			点検						点検					
1087	塚田橋	嶋井崎・塚田線	2.2	(1979)	43	R4					点検							点検		
1088	岩谷橋	滝・海蔵寺線	2.8	(1979)	43	R4					点検							点検		
1091	尾畑橋	上畑・海老津線	6.5	(1995)	27	R3				点検							点検			
1092	小竹橋	廣丸・小竹線	5.4	1939	83	R3				点検							点検			
1093	小竹2号橋	廣丸・小竹線	2.5	(1979)	43	R4					点検							点検		
1095	矢矧橋	西黒山・糠塚線	22.5	1986	36	H30	点検					点検								
1096	大日焼橋	大日焼地内1号線	9.0	(1980)	42	H30	点検					点検								

【様式1-2】道路橋

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。

直営点検：      委託点検：     

健全性	I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設年 度	供用年 数	最新点 検年次	対策の内容・時期													
							R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032				
1097	浜田橋	浜田・宇田線	3.1	(1979)	43	H30	点検						点検							
1098	南橋	本村・南線	2.0	(1992)	30	R4						点検						点検		
1099	桶太郎橋	湯川・平口谷線	2.0	(1979)	43	H30	点検						点検							
1100	一の井手橋	一の井手・北菅原線	4.1	(1979)	43	R4						点検						点検		
1102	山ノ口2号橋	三吉山ノ口線	3.6	(1986)	36	R4						点検						点検		
1103	金山口橋	高倉・上畑線	3.5	(1979)	43	R4						点検						点検		
1104	大膳塚橋	上畑区内2号線	5.2	(1989)	33	R3					点検						点検			
1105	糠塚地内1号橋	北原地内線	3.6	(1979)	43	R4						点検						点検		
1106	吉木地内1号橋	早崎地内2号線	3.6	(1984)	38	H30	点検						点検							
1107	稗田橋	稗田地内線	6.8	1998	24	R4						点検						点検		
1108	龍王橋	海老津・戸切線	13.6	1983	39	H30	点検						点検							
1109	畑橋	弥住・百合野線	4.5	(1984)	38	R3					点検						点検			
1110	名切橋	名切地内線	3.6	(1985)	37	R3		設計	← →	表面含浸&ひび割れ注入&断面修復						点検				
1111	狩野1号橋	狩野・森線	6.9	(1985)	37	R3					点検						点検			
1112	山ノ口3号橋	山ノ口・長谷線	2.3	(1985)	37	R4						点検						点検		
1113	大国橋	手野・垣ノ内線	5.4	(1986)	36	R3					点検						点検			
1114	鋤崎橋	鋤崎・中浦線	4.0	(1986)	36	R2					点検					点検				
1115	下牟田橋	内浦・什王堂線	12.9	(1979)	43	H30	点検						点検							
1116	高原橋	柳・植田2号線	2.3	(1988)	34	R4						点検						点検		
1117	猿田橋	西山田地内1号線	14.5	1978	44	H30	点検						点検							
1118	北分橋	天神領・北分線	2.0	(1988)	34	H30	点検						点検							
1119	畑一号橋	戸切・百合野1号線	6.7	(1988)	34	R3					点検						点検			
1120	畑二号橋	戸切・百合野1号線	6.5	(1988)	34	R3					点検						点検			
1121	畑三号橋	畑・河原田1号線	7.0	(1988)	34	R3					点検						点検			
1122	河原田橋	男石・河原田2号線	7.0	(1988)	34	R3					点検						点検			
1123	河原田二号橋	弥住・河原田線	3.5	(1988)	34	R3					点検						点検			
1124	一ノ井手橋	南菅原・下金蔵線	2.5	(1988)	34	R3					点検						点検			
1125	草場橋	竹ノ下・草場線	2.7	(1988)	34	R4						点検						点検		
1129	千手寺田1号橋	稲葉・千手寺田線	11.0	(1989)	33	R3	設計	← →	表面含浸&ひび割れ注入&断面修復							点検				
1130	千手寺田2号橋	稲葉・千手寺田線	3.4	(1989)	33	H30	点検						点検							
1131	小崎橋	小崎・沖線	3.7	(1989)	33	R3				設計	← →	表面含浸&ひび割れ注入&断面修復					点検			
1132	沖橋	黒山・沖2号線	2.2	(1989)	33	R2					点検						点検			
1133	和田橋	和田・北分線	2.3	(1989)	33	R2					点検						点検			
1135	中村橋	海老津・宝2号線	10.4	1988	34	H30	点検						点検							
1136	外畑橋	外畑・藤田ヶ崎線	2.4	(1979)	43	R3					点検						点検			
1137	白谷橋	海老津停車場線	12.3	1988	34	R2					点検					点検				
1138	南橋	高塚・四反田線	5.3	1966	56	R3					点検						点検			
1139	待田橋	手野・稲葉線	40.0	1980	42	H30	点検						点検							
1140	海老津1号橋	尾畑・小局線	2.6	(1991)	31	R3					点検						点検			
1141	中曾根1号橋	吉木・中曾根地内2号線	2.0	(1991)	31	R3					点検						点検			

【様式1-2】道路橋

凡例： ← 対策を実施すべき時期を示す。

直営点検：  委託点検：

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設年 度	供用年 数	最新点 検年次	対策の内容・時期													
							R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032				
1145	原2号橋	原地内線	5.6	(1993)	29	H30	点検						点検							
1146	上丸橋	上丸・岸元線	3.6	(1993)	29	R2			点検						点検					
1147	岸元橋	上丸・岸元線	11.0	(1993)	29	R1		点検						点検						
1148	水町3号橋	末旨・汐入線	3.3	(1994)	28	R2			点検						点検					
1149	水町2号橋	末旨・汐入線	2.9	(1994)	28	H30	点検						点検							
1150	牟田1号橋	牟田・汐入線	4.4	(1994)	28	R4						点検					点検			
1151	牟田2号橋	牟田・汐入線	3.1	(1994)	28	H30	点検						点検							
1152	汐入橋	牟田・汐入線	8.5	(1994)	28	R3				点検						点検				
1153	鍋田1号橋	国道3号側道1号線	19.9	1992	30	R3				点検						点検				
1154	鍋田2号橋	国道3号側道2号線	20.0	1992	30	R4					点検						点検			
1155	野間川1号橋	国道3号側道3号線	13.6	1981	41	H30	点検						点検							
1156	野間川2号橋	国道3号側道4号線	13.3	1982	40	R3				点検						点検				
1157	吉木橋	吉木・海老津線	19.1	1956	66	H30	点検						点検							
1158	堀毛橋	吉木・海老津線	2.5	(1994)	28	R2			点検						点検					
1159	裏田川橋	吉木・海老津線	4.7	(1994)	28	R3				点検			設計	点検						
1160	小日焼橋	吉木・海老津線	9.4	1988	34	R2			点検						点検					
1161	公園通り1号橋	公園通り3号線	7.0	(1996)	26	R1		点検						点検						
1162	公園通り2号橋	公園通り19号線	5.8	(1996)	26	R1		点検						点検						
1163	寿橋	東海老津区内1号線	14.6	1975	47	R3				点検						点検				
1164	日焼橋	野間・小日焼線	5.1	1984	38	R2			点検						点検					
1165	新西山田橋	野間・山田線	25.8	1997	25	R4					点検						点検			
1166	床版橋	稗田地内3号線	3.0	(2002)	20	R2			点検						点検					
1167	東山田橋	山下・内田線	14.6	1978	44	H30	点検						点検							
1169	今橋2号橋	元松原・吉木線	41.4	(1981)	41	R4	調査	設計	点検							点検				

※橋歴不明の橋梁は、町道認定を行った年を（ ）で記載している

※設計、補修工事を実施しない橋梁は監視対象とする

【様式 1 - 2】道路附属物等

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。

直営点検：  委託点検：

健全性	I:健全	II:予防保全段階	III:早期措置段階	IV:緊急措置段階
-----	------	-----------	------------	-----------

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設年 度	供用年 数	最新点 検年次	対策の内容・時期												
							R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
1168	岡垣中学校前歩道橋	吉木・海老津線	19.8	1976	46	H30	点検						点検						

※設計、補修工事を実施しない橋梁は監視対象とする

## 1 4. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

### 14.1 費用の縮減効果

橋梁長寿命化修繕計画を策定した橋梁は、計画的かつ予防的な修繕対策により、概ね100年以上を目標とした長寿命化が見込まれます。  
 計145橋の今後50年間の事業費を比較すると、従来の**事後保全型は71億円**、**予防保全型は27億円**となり、**コスト縮減効果は44億円**となります。  
 また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性や信頼性が確保されます。

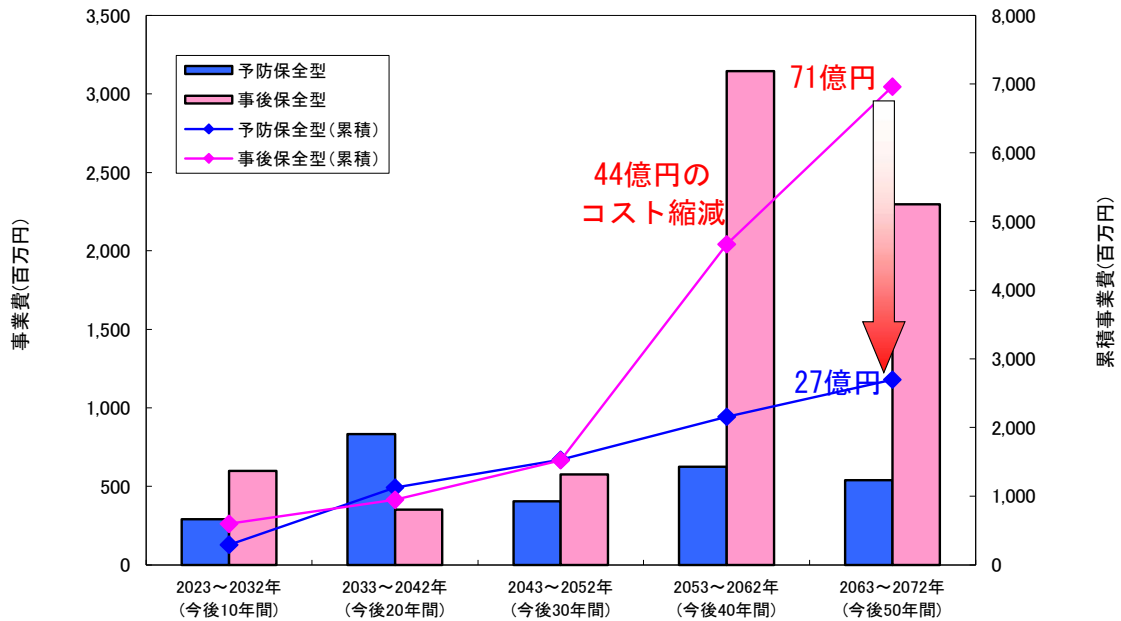


図14 今後50年間の事業費の推移

## 14.2 集約化・撤去に伴う費用縮減効果

集約化・撤去は、無理なく活用できる隣接ルートを確認できる計2橋を対象とし、令和9年度までの実施を目指します。

対象とする2橋は、将来の橋梁点検や補修対応の負担が軽減され、中長期的に約2,100万円のコスト縮減効果が期待されます。

## 14.3 新技術等の活用に伴う費用縮減効果

令和9年度までの5年間で実施する計146橋の橋梁定期点検および修繕工事する計7橋は、新技術を組み合わせ活用することで、点検費として約100万円、修繕工事費として約1,700万円のコスト縮減効果が期待されます。

### 新技術の選定

#### ①貼ってはがせるクラックスケール



旧NETIS登録番号：GS-160040-A  
クラックスケールを張ることで経過観察の精度が向上し、2巡目点検以降の作業手間が軽減されます。

#### ②合マーク用マーカー 消えま線



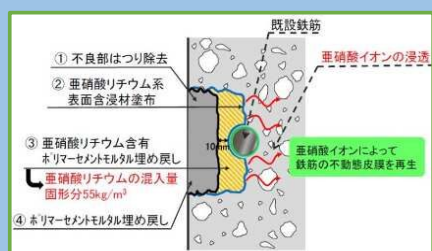
NETIS登録番号：CB-220008-A  
耐性の強いチョーキングにより、2巡目点検以降の作業手間が軽減されます。

#### ③3Dデータを活用した小型橋梁の点検・変状調査



点検支援カタログ：BR010038-V0022  
桁下空間が狭い溝橋を想定  
小型カメラを搭載した撮影装置の使用で3Dモデルの作成が可能。

#### ④亜硝酸リチウム併用型断面修復工法



NETIS登録番号：CG-220003-A  
はつり量やモルタル使用量が減少し作業手間と工事費が削減されます。

15. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

橋梁長寿命化修繕計画の策定に際し、有識者の有益な助言を得る場として、「学識経験者の意見聴取」の場を設けました。

意見聴取会では、修繕対応の再評価を行い、維持管理の仕組みが確実に機能していることを確認いたしました。

- ① 健全性Ⅲの橋梁数が平成25年度に17橋あったものが令和4年度には4橋まで減少し良好な状態が保たれている。
- ② 修繕計画は予防保全の観点から健全性Ⅱの橋梁でも劣化や損傷が進んでいる橋梁から修繕するように計画されている。

- 1) 計画策定担当部署  
岡垣町役場 都市建設課 tel : 093-282-1211
- 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者  
九州工業大学 大学院 工学研究院  
建設社会工学研究系 山口栄輝 教授
- 3) 意見聴取会実施日  
第1回 令和4年 9月 7日  
・ 業務概要の説明  
第2回 令和4年12月 1日  
・ 計画書（素案）の提出  
第3回 令和4年12月20日  
・ 現地確認  
・ 計画書の修正内容の確認



【意見聴取風景】



【現地指導風景】

## 16. 参考文献

- ① (財) 福岡県建設技術情報センター
  - ・ 市町村における個別施設計画（橋梁）策定の手引き（案）平成29年3月
  - ・ 管理者のための橋梁点検の手引き（案）平成29年3月
- ② 国土交通省道路局国道・技術課
  - ・ 橋梁定期点検要領 平成31年3月
- ③ 福岡県県土整備部道路維持課
  - ・ 橋梁定期点検要領 平成27年3月

## 17. 用語の定義

- ① 予防保全型  
継続的で計画的な維持管理により、損傷・劣化が軽微な段階で性能回復を図る維持管理の手法。
- ② 事後保全型  
損傷や劣化が顕著になってから、大規模補修や架け替えにより道路機能の回復を図る維持管理の手法。
- ③ 健全性  
橋梁部材単位毎の損傷や劣化状況の中で最も厳しい診断結果で代表させた指標。  
（「I：健全」～「IV：緊急措置段階」の4段階）
- ④ 管理水準  
管理橋梁が確保すべき性能（健全性）の目標値。
- ⑤ 対策  
個別施設計画、橋梁定期点検、補修工事、補強工事、架替え工事などを行うこと。